

さいたま市立植水小学校



学校だより
～創立138周年～

〒331-0057 さいたま市西区中野林225-1
TEL 048-624-4235
FAX 048-624-2280
Web ページ <http://uemizu-e.saitama-city.ed.jp/>
令和8年度 7月号 令和8年6月30日 発行

「よい空気が学校をつくる」

さいたま市立植水小学校

校長 保坂 泰司

地域・保護者の皆さま、こんにちは。いよいよ R08 年度 1 学期最後の月となります。今学期は、運動会や社会科見学、地域行事などがありました。子どもたちにとっては、少々慌ただしい 1 学期だったかもしれません。最後の 1 ヶ月は落ち着いて学習や運動に取り組んで欲しいと思います。

さて、6 月は「いじめ撲滅強化月間」でした。この期間中に、いじめを未然に防ぎ撲滅していくために、各クラスでは、そのためのスローガンを作成し、昼の TV 放送でそれらを紹介しました。

また、代表委員会による「ニコニコあいさつキャンペーン」も行われました。これは、いつでも、どこでも気持ちのよいあいさつをすることで、誰もがポカポカした温かい気持ちになれる。そうすればいじめがなくなるとの代表委員会の想いが込められた取組です。引き続き、いじめをなくすために、学校全体で子どもたちの日々の様子を見守り、声かけをしていくことをお約束します。

ところで、最近「空気の教育【外山滋比古 著】」という本を読みました。この中に、以下のような文章がありました。紹介させていただきます。

人間の生きるところには必ず空気がある。自分では気づかないでいることが多いが、だれでも、自分のまわりに、独特の雰囲気をもっている。何人かが同じところでいっしょに長く生活していれば、その共同生活からも特有の雰囲気が生じる。家庭の雰囲気、家風はそうしてできる。食事の時に、「いただきます」と言う。昨日も言った。今日も言う。明日も言うだろう。これがずっと続くと、やがて黙って食事をするができなくなる。空気ができたからで、空気が無言で「いただきます」と言うように命ずる。はたからよけいなことを言う必要はまったくない。たいへん小さいことながら、空気の一例である。一般に、この心の空気は、「形式×くりかえし×時間」によってできる。

つまり、「空気」が人を動かす。この「空気」が「形式(いただきます)×くりかえし(食事のたびに)×時間(継続して)」でできあがることで、「いただきます」が生活の中で当たり前になると書かれています。そう考えると、「いじめ」をなくすためには、「いじめをさせない」「いじめは絶対に許さない」という空気ができあがればいい。この「空気」は「形式(友だち・仲間を尊重する/大切にすること)×くりかえし(継続して)×時間(学校や近所で一緒に過ごす時間)」でできあがると考えられます。そして、実際にできあがれば、「いじめ」は撲滅されます。なぜなら、人は「空気」に取り巻かれながら生活していくからです。学校といたしましても、例えば、廊下は歩くという「空気」、げた箱の中の靴はかかとを揃えるという「空気」、正しく掃除に取り組む「空気」など、様々な「空気」が校内に溢れるようにしていけば、それらが植水小学校の「校風」として確立され、将来にわたって地域・保護者の皆さまから認められるようになると思います。また、より多くの「空気」が植水小学校に溢れるようになれば、子どもたちのよりよい成長にもつながると確信します。皆さま、どうぞご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。